

国際ワークショップ「東アジアにおける領土問題解決のための新パラダイム構築」

2012年9月4日にHOPS研究センター東アジア研究所と韓国世宗研究所の共催で国際ワークショップ「東アジアにおける領土問題解決のための新パラダイム構築」を開催しました。昨今話題となっている東アジアの領土問題について、北大公共政策大学院からは林成蔚先生、小磯修二先生、遠藤乾先生、スラブ研究センターから岩下明裕先生、そして韓国からは世宗研究所日本研究センター所長の陳昌洙先生及び現在長崎大学経済学部にて客員教授として来日されている崔雲燾先生をお招きして、領土問題に関して研究者レベルでの対話を図る目的で開催しました。

本ワークショップは、今年度採択されました国際交流基金(Japan Foundation)の研究助成により開催に至り、今回は日本、韓国、そして台湾それぞれの領土政策及び対外戦略、領土問題を抱えている地域の現状や対策などについて意見交換しました。本研究所は、このワーキンググループをさらに発展させ、日本、韓国、台湾そして中国の研究者を交えて今後とも領土問題について議論を続けていきたいと考えます。(文責：池直美)



(上：ワークショップの様子、下：参加者記念写真)